

記載例

活 動 計 画 書

6年2月28日策定

活動組織名:〇〇の森を守る会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇の森を守る会

2. 活動組織の所在地

〇〇市〇〇町〇〇番地

注：（別紙2様式）第8号活動組織の規約 第1章総則（事務所）と同じ、代表者宅が事務所の場合はその住所地番を記載。

3. 地区の概要、取組の背景等・取組の概要、地元自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地区の活性化への寄与等

上記内容を記載。

※活動人員の確保・育成、活動経費の確保などについての取組を記載すること。

4. 取組概要

取組の概要。

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

上記の※印を記載。

6. 年度別スケジュール

取組メニュー	6年度		7年度		8年度	
1. 活動推進費	現地の林況調査、活動のための話し合い、研修等					
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い・集積・処理・落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え等	1.8ha	雑草木の刈払い・集積・処理・落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え等	1.8ha	雑草木の刈払い・集積・処理・落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え等	1.8ha
A-2 森林資源利用タイプ	木質バイオマス・炭焼・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工等	2.7ha	木質バイオマス・炭焼・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工等	2.7ha	木質バイオマス・炭焼・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工等	2.7ha
C 森林機能強化タイプ (歩道や作業道の作設・改修等の延長を記載)	歩道や作業道等の作設・改修等	200m	歩道や作業道等の作設・改修等	0m	歩道や作業道等の作設・改修等	0m
2-1 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積		0.0ha		0.0ha		0.0ha
人工林だけでなく天然林についても入れること						
2-2 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていないと考えられる森林を整備する面積		0.0ha		0.0ha		0.0ha
施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよその面積で記載し測量等を行う必要はない。						
D 関係人口創出・維持タイプ	地域関係者との活動内容の調整、地域外関係者受入のための環境整備、これらの活動に必要な森林調査・見回り、傷害保険等		地域関係者との活動内容の調整、地域外関係者受入のための環境整備、これらの活動に必要な森林調査・見回り、傷害保険等		地域関係者との活動内容の調整、地域外関係者受入のための環境整備、これらの活動に必要な森林調査・見回り、傷害保険等	
3. 資機材・施設の整備等						
	環境保全・森林資源、森林強化タイプ等の実施に必要な機材等の購入		環境保全・森林資源、森林強化タイプ等の実施に必要な機材等の購入		環境保全・森林資源、森林強化タイプ等の実施に必要な機材等の購入	

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※4 2のDの関係人口創出タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と結果を測定するためモニタリング方法(地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載)

タイプ名	活動の目標	数値目標	モニタリング方法
地域環境保全	混みあった林をすっきりさせ、健全な状態の林にしたい。	相対幹距比2ポイントアップ	100㎡の調査区(1か所)を設定し、現況と活動後の状況を調査。
森林資源利用	混みあった林をすっきりさせ、伐採した木材を炭・しいたけ棺木等に利用する。	炭・しいたけ原木生産量の目標を年10㎡とする。	生産原木量を集計し、達成状況を把握する。

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドランを参考とすること。

8. 年度別に実施する安全講習の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
○ 年度	刈払い機、チェーンソー研修	会員の中に刈払い機・チェーンソーの資格所有者を講師に、活動している森林内で会員全員を集めたに講習を実施。
○ 年度	刈払い機、チェーンソー研修	会員の中に刈払い機・チェーンソーの資格所有者を講師に、活動している森林内で会員全員を集めたに講習を実施。
○ 年度	刈払い機、チェーンソー研修	会員の中に刈払い機・チェーンソーの資格所有者を講師に、活動している森林内で会員全員を集めたに講習を実施。

(注)安全講習等は対象森林内で実施するものを記載すること。

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

安全装備：防護服、防護手袋、ヘルメット、応急用薬品等

傷害保険：NPO活動総合保険

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

活動組織の考えを記載。

11. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

12. 持続性向上に向けた取組

欄外の※印を記載。

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取組について記載する。

13. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期わたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入について記載すること。

項目（費目）	内 容	年間収入見込額（円）
会費	会員10名×会費年2,000円=20,000円	20,000
資機材購入の負担金	会員10名×1,000円=10,000円(20,000円×1/2)	10,000

(3) 委託

活動計画における取組についての委託

・委託機関名	○○森林組合
・連絡先（電話番号等）	○○○○○-○○-○○○○
・委託時期	○年○月頃
・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）	○林班○小班内にある風倒木の掛かり木となっている木5本を、構成員が伐倒処理するのは危険なため、○○森林組合に委託する。
・委託金額	○○○○○円

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動（作業の監督や林内の見回り等）を活動計画の中で必ず明記すること。